

2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 ミネベアミツミ株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 6479 URL <https://www.minebeamitsumi.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長執行役員 (氏名) 貝沼 由久
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 光伸 TEL 03-6758-6711
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	461,730	△4.6	22,921	△0.1	22,249	△3.2	16,849	△1.0	16,812	3.0	18,593	236.9
2020年3月期第2四半期	483,898	7.7	22,947	△32.3	22,973	△33.0	17,014	△37.1	16,315	△39.2	5,518	△84.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	41.16	40.27
2020年3月期第2四半期	39.30	38.46

(注) 2020年3月期末において、株式会社ユーシンの取得による企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	934,907	414,349	411,814	44.0
2020年3月期	864,481	402,276	394,372	45.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	14.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 期末配当金は、当期の業績を勘案した上で決定いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	940,000	△3.9	50,000	△14.7	39,000	△15.2	95.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）エイブリック株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	427,080,606株	2020年3月期	427,080,606株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	18,677,254株	2020年3月期	18,676,128株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	408,403,852株	2020年3月期2Q	415,131,173株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（アナリスト向け決算説明会資料の入手方法）

2020年11月6日（金）に、決算説明会資料を当社ウェブサイト (<https://www.minebeamitsumi.com/>) に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大により輸出及び消費が大幅に減少し、企業収益の悪化とともに設備投資が減少するなどリーマンショック以来最大の景気後退となり、新型コロナウイルス流行前の水準を下回る状況が続いております。米国経済は、製造業を中心に回復傾向は見られるものの、新型コロナウイルス感染拡大による世界景気の下振れから輸出や設備投資が大幅に減少し、一部の州における経済活動規制や大統領選挙の行方など先行きが不透明な状況が続いております。欧州経済は、ロックダウン長期化の影響などにより後退した景気に回復の兆しは見られるものの、再度の感染拡大も懸念され、経済活動が新型コロナウイルス流行前の水準に戻るには時間を要する見込みです。アジア地域においては、中国の経済活動が再開され、中国政府からの不動産開発投資やインフラ投資の促進策に加え、海外での活動再開などに伴い輸出が増加に転じるなど回復傾向にありますが、米中貿易摩擦のさらなる激化が懸念されるなど先行きは不透明な状況です。

当社グループは、かかる経営環境下で、収益力のさらなる向上を実現するために、徹底したコスト削減、高付加価値製品と新技術の開発及び拡販活動に注力してまいりました。

この結果、売上高は461,730百万円と前年同期比22,168百万円(△4.6%)の減収となりました。営業利益は22,921百万円と前年同期比26百万円(△0.1%)の減益、税引前四半期利益は22,249百万円と前年同期比724百万円(△3.2%)の減益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は16,812百万円と前年同期比497百万円(3.0%)の増益となりました。

なお、2020年4月30日付でエイブリック株式会社を子会社化し、経営統合を実施したことに伴い、同社を連結対象に組み入れております。上記には、統合日以降の同社の損益が含まれております。

また、前連結会計年度末において、株式会社ユーシンの取得による企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

機械加工品事業は、当社グループの主力であるボールベアリングのほかに、主として航空機に使用されるロッドエンドベアリング、ハードディスク駆動装置(HDD)用ピボットアッセンブリー等のメカニカルパーツ及び航空機用のねじが主な製品であります。主力製品であるボールベアリングは、ファンモーター向けにおいて需要が堅調に推移しましたが、自動車向けの需要減等により売上高は減少しました。ロッドエンドベアリングは、航空機関連の需要減により売上高は減少しました。ピボットアッセンブリーは、HDD市場の縮小を受け売上高は減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は73,548百万円と前年同期比17,639百万円(△19.3%)の減収となり、営業利益は14,064百万円と前年同期比6,843百万円(△32.7%)の減益となりました。

電子機器事業は、電子デバイス(液晶用バックライト等のエレクトロデバイス、センシングデバイス(計測機器)等)、HDD用スピンドルモーター、ステッピングモーター、DCモーター、エアームーバー及び特殊機器が主な製品であります。自動車市場の低迷に伴い、ステッピングモーターをはじめとする車載モーターの需要減はありましたが、液晶用バックライトでは薄型技術に優位性を持つ当社への需要が堅調に推移し、売上高は横ばいとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は178,274百万円と前年同期比645百万円(△0.4%)の減収となり、営業利益は7,681百万円と前年同期比1,605百万円(26.4%)の増益となりました。

ミツミ事業は、半導体デバイス、光デバイス、機構部品、高周波部品及び電源部品が主な製品であります。半導体デバイス、ゲーム機器等の機構部品が好調に推移し、売上高は増加しました。

なお、エイブリック株式会社の取得に伴い、ミツミ事業に同社の損益が含まれております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は167,346百万円と前年同期比16,768百万円(11.1%)の増収となり、営業利益は8,984百万円と前年同期比1,835百万円(25.6%)の増益となりました。

ユーシン事業は、キーセット、ドアラッチ、ドアハンドル等の自動車部品のほかに、産業機器用部品、住宅機器用部品(ビル、住宅用錠前その他)が主な製品であります。自動車部品は、自動車市場減速により売上が大幅に減少しました。産業機器用部品においても市場の減速により売上が減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は42,153百万円と前年同期比20,639百万円(△32.9%)の減収となり、営業利益は売上高の減少に伴い974百万円の損失と前年同期比2,428百万円の悪化となりました。

その他の事業は、自社製機械が主な製品であります。当第2四半期連結累計期間の売上高は409百万円と前年同期比13百万円(△3.1%)の減収、営業損失は831百万円と前年同期比137百万円の悪化となりました。

上記以外に、各セグメントに帰属しない全社費用等6,003百万円を調整額として表示しております。前年同期の調整額は11,945百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当社グループは、「財務体質の強化」を主要な経営方針とし、効率的な設備投資、資産運用及び有利子負債の削減等に取り組んでおります。高収益のコア事業への比重を高めるポートフォリオ改革や実効性の高いM&Aを実現し、適切かつ機動的な財務戦略を推進いたします。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は934,907百万円となり、前連結会計年度末に比べ70,426百万円の増加となりました。その主な要因は、棚卸資産、のれん、有形固定資産の増加であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は520,558百万円となり、前連結会計年度末に比べ58,353百万円の増加となりました。その主な要因は、社債及び借入金の増加であります。

なお、資本は414,349百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は44.0%と前連結会計年度末比1.6ポイント減少しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は124,569百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,177百万円減少しました。

当第2四半期連結会計期間末の各活動におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7,731百万円の収入（前年同期は13,892百万円の収入）となりました。これは、主に税引前四半期利益、減価償却費及び償却費、営業債権及びその他の債権、棚卸資産の増減等によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは、47,455百万円の支出（前年同期は27,017百万円の支出）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出等によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは、33,425百万円の収入（前年同期は1,481百万円の支出）となりました。これは、主に短期借入金の増減があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想については売上、利益ともに上限、下限と幅を持った予測としておりましたが、当第2四半期連結結果計期間の業績及び直近の状況を踏まえ、現時点で予想可能な範囲で通期連結業績予想を見直し、以下のとおりといたします。

通期連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (2020年8月4日発表)	900,000 ～1,000,000	50,000 ～60,000	39,000 ～47,000
今回予想	940,000	50,000	39,000

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要事項と認識しており、経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益配分を維持しながら、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益配分を第一義とし、業績をより反映した水準での利益還元をはかることを基本方針といたします。

この基本方針の下、前期の配当は、連結業績にもとづき、中間期に14円、期末に14円の1株当たり年間配当28円を行いましたが、当期の中間配当金に関しましては1株当たり14円といたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	130,746	124,569
営業債権及びその他の債権	182,890	198,600
棚卸資産	169,803	186,469
その他の金融資産	18,057	18,866
その他の流動資産	14,375	15,057
流動資産合計	515,871	543,561
非流動資産		
有形固定資産	275,064	288,257
のれん	18,626	43,715
無形資産	13,798	14,081
その他の金融資産	18,896	20,781
繰延税金資産	18,008	20,247
その他の非流動資産	4,218	4,265
非流動資産合計	348,610	391,346
資産合計	864,481	934,907

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	143,964	132,951
社債及び借入金	95,268	146,374
その他の金融負債	6,984	6,290
未払法人所得税等	2,905	7,778
引当金	4,353	4,485
その他の流動負債	42,209	47,065
流動負債合計	295,683	344,943
非流動負債		
社債及び借入金	126,444	133,173
その他の金融負債	13,639	15,473
退職給付に係る負債	22,482	23,063
引当金	579	581
繰延税金負債	1,702	1,709
その他の非流動負債	1,676	1,616
非流動負債合計	166,522	175,615
負債合計	462,205	520,558
資本		
資本金	68,259	68,259
資本剰余金	134,707	139,361
自己株式	△34,455	△34,468
利益剰余金	234,667	245,761
その他の資本の構成要素	△8,806	△7,099
親会社の所有者に帰属する持分合計	394,372	411,814
非支配持分	7,904	2,535
資本合計	402,276	414,349
負債及び資本合計	864,481	934,907

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	483,898	461,730
売上原価	408,533	384,979
売上総利益	75,365	76,751
販売費及び一般管理費	54,030	51,269
その他の収益	2,360	3,302
その他の費用	748	5,863
営業利益	22,947	22,921
金融収益	961	801
金融費用	935	1,473
税引前四半期利益	22,973	22,249
法人所得税費用	5,959	5,400
四半期利益	17,014	16,849
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	16,315	16,812
非支配持分	699	37
四半期利益	17,014	16,849
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	39.30	41.16
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	38.46	40.27

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	279,473	274,267
売上原価	232,991	231,076
売上総利益	46,482	43,191
販売費及び一般管理費	27,285	26,064
その他の収益	663	2,039
その他の費用	237	1,609
営業利益	19,623	17,557
金融収益	407	286
金融費用	398	868
税引前四半期利益	19,632	16,975
法人所得税費用	5,128	3,742
四半期利益	14,504	13,233
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	14,142	13,239
非支配持分	362	△6
四半期利益	14,504	13,233
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	34.07	32.42
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	33.32	31.69

(要約四半期連結包括利益計算書)

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	17,014	16,849
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△548	950
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△548	950
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△10,967	△133
キャッシュ・フロー・ヘッジ	19	927
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△10,948	794
税引後その他の包括利益	△11,496	1,744
四半期包括利益	5,518	18,593
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,266	18,519
非支配持分	252	74
四半期包括利益	5,518	18,593

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	14,504	13,233
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△105	65
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△105	65
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,461	△5,312
キャッシュ・フロー・ヘッジ	4	△240
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△2,457	△5,552
税引後その他の包括利益	△2,562	△5,487
四半期包括利益	11,942	7,746
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	11,723	7,691
非支配持分	219	55
四半期包括利益	11,942	7,746

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2019年4月1日 残高	68,259	137,464	△19,448	202,172	8,387	△76
四半期利益	—	—	—	16,315	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△10,520	19
四半期包括利益	—	—	—	16,315	△10,520	19
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
配当金	—	—	—	△5,812	—	—
子会社の新規取得	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	△2,705	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	29	—	—
所有者との取引額等合計	—	△2,705	△1	△5,783	—	—
2019年9月30日 残高	68,259	134,759	△19,449	212,704	△2,133	△57

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を 通じて公正価値で 測定する金融資産	合計			
2019年4月1日 残高	2,945	11,256	399,703	7,557	407,260
四半期利益	—	—	16,315	699	17,014
その他の包括利益	△548	△11,049	△11,049	△447	△11,496
四半期包括利益	△548	△11,049	5,266	252	5,518
自己株式の取得	—	—	△1	—	△1
配当金	—	—	△5,812	—	△5,812
子会社の新規取得	—	—	—	4,904	4,904
非支配持分との取引	—	—	△2,705	△5,071	△7,776
利益剰余金への振替	△29	△29	—	—	—
所有者との取引額等合計	△29	△29	△8,518	△167	△8,685
2019年9月30日 残高	2,368	178	396,451	7,642	404,093

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2020年4月1日 残高	68,259	134,707	△34,455	234,667	△8,807	△1,007
四半期利益	—	—	—	16,812	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△170	927
四半期包括利益	—	—	—	16,812	△170	927
自己株式の取得	—	—	△242	—	—	—
自己株式の処分	—	11	229	—	—	—
配当金	—	—	—	△5,718	—	—
非支配持分との取引	—	4,643	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	4,654	△13	△5,718	—	—
2020年9月30日 残高	68,259	139,361	△34,468	245,761	△8,977	△80

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を 通じて公正価値で 測定する金融資産	合計			
2020年4月1日 残高	1,008	△8,806	394,372	7,904	402,276
四半期利益	—	—	16,812	37	16,849
その他の包括利益	950	1,707	1,707	37	1,744
四半期包括利益	950	1,707	18,519	74	18,593
自己株式の取得	—	—	△242	—	△242
自己株式の処分	—	—	240	—	240
配当金	—	—	△5,718	△43	△5,761
非支配持分との取引	—	—	4,643	△5,400	△757
所有者との取引額等合計	—	—	△1,077	△5,443	△6,520
2020年9月30日 残高	1,958	△7,099	411,814	2,535	414,349

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	22,973	22,249
減価償却費及び償却費	22,917	23,820
受取利息及び受取配当金	△875	△614
支払利息	779	804
固定資産除売却損益 (△は益)	△616	△247
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△20,996	△12,276
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△25,937	△10,133
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	13,995	△17,506
その他	7,037	5,081
小計	19,277	11,178
利息の受取額	667	435
配当金の受取額	182	174
利息の支払額	△603	△776
法人所得税の支払額	△5,631	△3,280
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,892	7,731
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△325	△1,326
有形固定資産の取得による支出	△26,127	△23,873
有形固定資産の売却による収入	1,556	965
無形資産の取得による支出	△578	△652
有価証券の取得による支出	△1,141	△937
有価証券の売却及び償還による収入	1,191	920
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による収入	47	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	△1,822	△22,686
その他	182	134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,017	△47,455

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	33,176	48,463
長期借入金の返済による支出	△27,310	△1,628
社債の償還による支出	△100	—
非支配持分からの子会社持分取得による 支出	—	△5,377
自己株式の処分による収入	—	240
自己株式の取得による支出	△1	△242
配当金の支払額	△5,812	△5,718
非支配持分への配当金の支払額	—	△43
リース負債の支払額	△1,434	△2,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,481	33,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,170	122
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△19,776	△6,177
現金及び現金同等物の期首残高	122,432	130,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	102,656	124,569

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	機械 加工品	電子 機器	ミツミ 事業	ユーシン 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	91,187	178,919	150,578	62,792	422	—	483,898
セグメント間の売上高	2,737	2,808	999	—	1,461	△8,005	—
合計	93,924	181,727	151,577	62,792	1,883	△8,005	483,898
セグメント利益 又は損失(△)	20,907	6,076	7,149	1,454	△694	△11,945	22,947
金融収益	—	—	—	—	—	—	961
金融費用	—	—	—	—	—	—	935
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	22,973

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	機械 加工品	電子 機器	ミツミ 事業	ユーシン 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	73,548	178,274	167,346	42,153	409	—	461,730
セグメント間の売上高	2,237	2,716	929	—	853	△6,735	—
合計	75,785	180,990	168,275	42,153	1,262	△6,735	461,730
セグメント利益 又は損失(△)	14,064	7,681	8,984	△974	△831	△6,003	22,921
金融収益	—	—	—	—	—	—	801
金融費用	—	—	—	—	—	—	1,473
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	22,249

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自社製機械が主な製品であります。

2. 調整額の内容は、次のとおりであります。

セグメント利益又は損失に係る調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等の全社費用であります。なお、前第2四半期連結累計期間には、タイの労働者保護法改正による退職給付費用2,790百万円が含まれております。

3. 前連結会計年度末において、株式会社ユーシンの取得による企業結合について、暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。